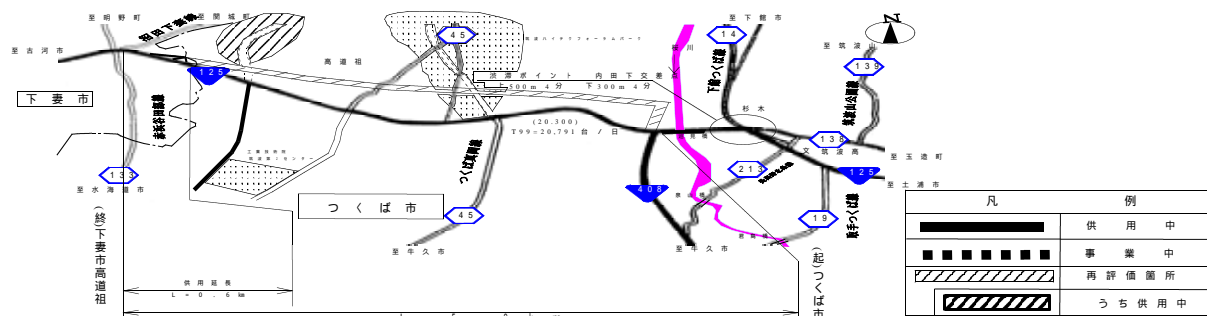


再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道125号 つくばバイパス		事業区分	一般国道	事業主体	いばらきけん 茨城県
起終点	自：茨城県つくば市田中 至：茨城県下妻市高道祖			延長	5.9 km	
事業概要	<p>一般国道125号は、千葉県佐原市を起点として埼玉県熊谷市に至る延長約173 kmの主要幹線道路である。</p> <p>つくばバイパスは、つくば市内の交通混雑を緩和し、円滑な交通の確保を目的とした延長約5.9 kmの4車線道路である。</p>					
H 2年度事業化	H 3年度都市計画決定 (H 年度変更)	H 3年度用地着手	H 9年度工事着手			
全体事業費	80億円	事業進捗率	74%	供用済延長	0.6 km	
計画交通量	29,400台/日					
費用対効果 分析結果	B / C (事業全体) (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) 23 / 89 億円 (事業費：18/84 億円) (維持管理費：5/5 億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 150 / 150 億円 (走行時間短縮便益：135 / 135 億円) (走行費用減少便益：15 / 15 億円) (交通事故減少便益：0 / 0 億円)	基準年 平成16年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 個性ある地域の形成（筑波山へのアクセス向上が期待される） 災害への備え（対象区間が「茨城県地域防災計画」において第一次緊急輸送道路に指定） 他 5項目に該当（定量的評価項目を含む） 					
関係する地方公共団体等の意見	<p>本路線は、地域間交流の促進等に重要な役割を担っており、つくば市をはじめとする関係3市1町1村の首長で構成される国道125号整備促進期成同盟会より整備促進の要望（平成17年2月21日）を受けている。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>本年8月につくばエクスプレスの開業が予定されるなど、つくば研究学園都市へのアクセス道路としての役割が高まっている。</p>					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>境界未定、相続関係の整理等用地難航箇所が散在し、工事の着手が遅れているが、現在までに約0.6 kmを部分供用している。</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>地元つくば市や関係機関との協議等により、平成17年度までに用地難航箇所の解決の目処をつけ、早期完成を目指して工事の進捗を図る。</p>					
施設の構造や工法の変更等	<p>二次製品の大型化や再生材の利用及び現場発生土の有効利用等コスト縮減を図っている。</p>					
対応方針	<p>以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。